

第6回東海第二地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

1. 日 時

平成30年5月23日（水） 13：30～14：40

2. 場 所

茨城県庁6階 災害対策本部室

3. 出席者

国 : 内閣府、原子力規制庁、資源エネルギー庁、関東経済産業局
関係自治体 : 茨城県、東海村、日立市、ひたちなか市、那珂市、水戸市、
常陸太田市、高萩市、笠間市、常陸大宮市、鉾田市、茨城町、
大洗町、城里町、大子町
オブザーバー : 日本原子力発電株式会社

4. 議 題

- (1) 避難計画の充実化について
- (2) その他

5. 概 要

(1) 避難計画の充実化について

- 新年度の人事異動を踏まえ、内閣府から、東海第二地域原子力防災協議会及び作業部会の設置の趣旨、基本構成等について説明した上で、関係者で共有すべき基本認識や個別の課題に係る検討状況等について、改めて整理して説明した。
- 茨城県と内閣府から、個別の課題の具体的な解決に向けて取り組むべく、作業部会などを通して検討を進めていきたい旨を説明した。
- 関係市町村から、学校の避難計画の基礎となるマニュアルの改訂について質問があり、茨城県から、子どもの安全・安心を確保するべく様々な観点から防護措置の在り方について現在検討を行っている旨を説明した。また、内閣府から、茨城県での検討に際して、他地域における知見を提供しながら検討をサポートしていく旨を説明した。

(2) その他

- 茨城県から、避難計画の実効性向上を図っていく上では個別の課題の具体的な解決は不可欠であり、特に在宅の避難行動要支援者の把握とその支援

者の確保や、安定ヨウ素剤の緊急時配布など、市町村が主体となって取り組んでいく具体的な課題の検討を進めていくため、今後とも協力をいただきたい旨発言があった。また、内閣府からも、茨城県の意見を踏まえて、これまでどおり、作業部会などの場を通じて、議論や相談をしていきたい旨発言があった。

以 上